

# 北上市PTA連合会報

第44号

一発行日一  
令和5年  
(2023年)  
3月10日

発行：北上市PTA連合会

企画編集：広報委員会

印刷：北上アビリティセンター



## 未来に向かい自ら学び



## 地域を互いに支えるひとづくりを！



今年度は、コミュニティ・スクールが市内ほぼ全校で活動がスタートしました。北上市の教育振興基本目標である、「未来に向かい 自ら学び 地域を互いに支えるひとづくり」に向け、学校運営協議会と地域学校協働本部が両輪となって、地域学校協働活動が動き出しています。子どもたちの健全な成長、地域の活性化を目指した学校・PTA・地域による一体的な取組の充実のため、自分たちになにができるのか「熟議」を重ねながら実践に移していきたいと思えます。

目次	□特集 「コミュニティ・スクール」……………P 2	□母親委員会の活動……………P 7
	□PTA紹介 飯豊中学校 和賀西中学校……………P 3	□研修委員会の活動……………P 7
	□学校紹介 照岡小学校 口内小学校……………P 4	□研究大会参加報告……………P 7
	立花小学校 黒岩小学校……………P 5	□市P連会長あいさつ・編集後記……………P 8
	□周年行事 二子小学校 和賀西小学校……………P 6	



# 特集 北上市の目指す「コミュニティ・スクール」

皆さんは、「コミュニティ・スクール」という言葉を聞いたことがありますか？今回は、全国の学校で進められている「コミュニティ・スクール」について、広く知っていただきたいと思い、特集を組みました。

- ▶ **コミュニティ・スクールとは？**  
「コミュニティ・スクール」とは「学校運営協議会」を設置している学校のことです。
- ▶ **学校運営協議会とは？**  
学校と保護者、地域住民が一体となり、「地域とともにある学校づくり」のために協議するところです。

まず、北上市の「コミュニティ・スクール」について、北上市まちづくり部生涯学習文化課の島田晶夫さんからお話を伺いました。



Q：北上市内の小・中学校では、どれくらい「コミュニティ・スクール」の導入が進んでいますか？

A：令和4年度で閉校となる学校を除く全ての小・中学校が「コミュニティ・スクール」となっています。

Q：北上市の「コミュニティ・スクール」のねらいは、分かりやすく言うとどんなことですか？

A：3つあります。①学校や保護者・地域が力を合

わせて行う学校づくり、②学校を核とした地域づくり、③子どもの健全育成です。

Q：その運営のために、「地域学校協働本部」が設置されているわけですが、ここではどのようなことを行いますか？

A：「地域学校協働本部」は、主に各地区等の交流センターごとに設置され、子どもの学びや成長を支える活動をします。地域コーディネーターが、学校と地域をつなぐ大切な役割をしています。

Q：最後に、この「コミュニティ・スクール」に関わって、小・中学生をもつ親御さんへのメッセージをお願いします。

A：自分たちも学校づくり・地域づくりの一員であるという当事者意識、「何ができそうか」という視点、をもっていただくことが大切と考えています。そのために、まずは、お子さんと一緒に、学校や地域の行事に積極的に参加してください。



島田さん、ありがとうございました。さて、「コミュニティ・スクール」をより効果的に推進する方法の1つとして、「熟議」という学校や地域がその目標などを共有していくための話し合いがあります。実際に「熟議」が行われるという市内の小学校さんにおじゃましてきましたので、その様子を紹介します。

## みんなで「熟議」 子どもたちの未来のために今大人ができること

教職員、保護者、地域の方が一堂に会して熱心に話し合い、思いや願いを共有されていました。



子ども達の未来のために、学校・保護者・地域が一体となった息の長い活動にしていきたいですね。



出典：北上市・北上市教育委員会『北上市の目指すコミュニティ・スクール』

# PTA紹介

## コミュニティ・スクールの取り組み

## 飯豊中学校 PTA



飯豊中学校区では、令和4年度から学校運営協議会と協力してコミュニティ・スクールの取り組みを

始めました。協議員には交流センター長をはじめとした地域で様々な活動をなさっている方にお引き受けいただき、地域全体で児童生徒を見守り、育てていく環境作りを目指しました。

六月に行った協議会では小学校、中学校の活動の現状を学校側からお伝えするのはもちろん、参加した協議員の方々に地域での子ども達の様子を教えていただきました。お互いに普段知ることのできない子ども達の意外な面を知ることができ、有意義な情報交換の場となりました。協議会



で議題に上がったことから行うことができた取り組みを二つ紹介します。

一つは学校花壇作りです。JAいわて花巻の皆さんと協力して、学校前の花壇の整備を行いました。当日は係の生徒とJAいわて花巻の職員の方、地域の花壇作りの達人の皆さんで協力し、苗をきれいに植えることができました。この花壇は花いっぱいコンクールにも出品しました。



もう一つは鬼剣舞衣装の寄付募集です。学校全体で取り組んでいる伝統芸能鬼剣舞の衣装を、運営協議会を通して募集していただきました。おかげで地域から寄付が寄せられたのはもちろん、遠くは北海道から寄付してくださった方もいました。地域との協力で様々なことが実現できることを実感した一年目となりました。

(飯豊中学校 PTA 会長 杉澤 巧)

## 「コミュニティ・スクールの実践について」和賀西中学校 PTA

新型コロナウイルスが流行し始め、約3年となりました。一時終息の光が見えてまいりましたが、再び感染増加になり、不安な日々を過ごす毎日になりました。

以前の様な活動ができる事を、一日も早く願うばかりです。

この様なコロナ禍の中、地域の方々や先生方の細心の感染対策のもと、コミュニティ・スクールを実践してまいりました。



まず、4月は交通安全教室です。横川目駐在所の方と地域安全パトロール隊の方々が、実際に自転車で公道に出て生徒に交通ルールを指導して

くださいます。

5月は、和賀西学区の校長先生、PTA、地域の委員長の方々が集まり、より良い学校、地域づくりの



為、質疑応答が繰り返される学校運営協議会がありました。

7月は、1学年の学習遠足です。「ふるさと探検隊」として、町内にある、石羽根ダムや

綱取断層を訪問し、地域の自然を体験してまいりました。

その他にも、地域の方々がボランティアでお菓子作りや生け花を教えてくださいました。生け花は普段体験できない事ですし、私も経験がないので羨ましく感じております。

さらに、地区青少年健全育成会講演会では、地区の整骨院の先生がいらっしやり、正しい姿勢など生徒の興味のある講演をしてくださいました。

この様に、地域の方々と学校が力を合わせて運営し、地域と一体となり特色のある学校作りを進めていきたいと思ひます。

(和賀西中学校 PTA 会長 名須川 ゆかり)

# 学校紹介

## 「元気・やる気・根気」を胸に刻んで

## 照岡小学校 PTA



令和4年度、私たち照岡小学校にとって最後の一年となりました。昭和30年7月10日北上市立照岡小学校の開校以来、約67年の学校が幕を閉じようとしています。

照岡小学校は北上市稲瀬町と奥州市江刺稲瀬の二つの市にまたがった児童が通う小学校になります。照岡小学校の校名の由来は、奥州市江刺稲瀬三照地区の「照」と北上市稲瀬町の下門岡、内門岡、上門岡地区の「岡」を併せた校名です。

二つの行政区の子供たちが机を同じくする小学校のため、運動会では奥州市江刺に伝わる佐野向神楽、学習発表会では北上市稲瀬町に伝わる門岡念仏剣舞を、各保存会の皆さんにご指導いただきながら、伝承してきました。全校児童が地域に伝わる伝統芸能に携わりながら、地域全体が子供たちの成長を見守っていく風土が根付いています。

また、学校の隣の圃場を借りて、全校児童で米づくりを行ってきました。1年生から6年生までが、泥だらけになりながら田植えを行い、秋の収穫作業を行っています。出来上がった、もち米については、上級生が地区の文化祭などで販売を行い、米作りからできあがった商品を販売するとともに、修了式に祝い餅として全校児童でいただくという学習も行っております。

私たちの学校は、全校児童が55名で小規模校となりますが、小規模校の良さを活かして全校児童が一丸になって学校行事に取り組んでいます。今年度で照岡小学校は、閉校になるため、北上市と奥州市で子供たちは離ればなれとなってしまいます。新しく設立する東桜小学校でも「元気・やる気・根気」の照小三気をモットーに楽しく新しい学校生活をスタートさせていってほしいと思います。



(照岡小学校PTA会長 高橋 優介)

## 口内から新たな小学校へ

## 口内小学校 PTA

緑豊かな環境に囲まれた口内小学校も今年度をもって閉校となります。

私が在籍していた頃は1学年30人ほどでしたが、それから30年ほどのうちに全校生徒が30人となり、少子化の波には逆らえず、統合となりました。

近年のコロナ禍の中、数々の行事が中止や縮小となってしまいましたが、閉校となる最後の年は徐々に行事が再開されました。



運動会においては、全校児童で口内鬼剣舞を踊りました。短い練習期間でしたが、みんな最高の雄姿をみせました。

今後は、口内の民俗芸能を小学生が踊る姿が見られなくなってしまうかもしれませんが、新しい



小学校で新たな文化が芽生えることも期待されます。

学習発表会では、全校児童による合唱のほか、閉校をテーマにした劇も披露され、たくさんの

地域の皆様にも見ていただくことができました。

そのほかにも、地区陸上等の大会では多くの入賞や自己ベストを記録し、4人の6年生で仙台への修学旅行も満喫してきました。

このように、なんとか無事に有終の美を飾って終えられそうですが、今回の統合により、今まで市内16地区すべてに少なくとも1つ以上あった学校が無くなる地域が出てくることになります。今まで地域と学校は密接につながって活動してきましたが、今後どのようにして地域との連携を継続していくかは大きな課題となります。

これからも、子どもたちが地域に愛着を持ち、地域に根付いていけるような学校生活を考えていきたいと思っています。

(口内小学校PTA会長 佐藤 岳洋)

## ありがとう立花小学校

立花小学校は今年度をもって、長い歴史に幕を下ろします。昨年に続き、コロナ禍ではありますが、一つでも多くの思い出を子ども達に残してあげたいという思いで感染症対策をし、行事等を行ってまいりました。

最後の運動会、学習発表会は子ども達のたくましく成長した姿を見ることができ、胸が熱くなりました。



みんなの思い出の1ページにきざまれたことと思います。

さて、立花小学校の校歌の歌詞に「桜の花の道ゆけば」とあります。北上市

は桜が有名です。立花小学校の周りにも様々な桜の木が植えてあります。正門付近には、立花小学校創立当初から、子ども達を見守り続けている立派な枝垂れ桜があり、毎年春になると子ども達の進級を祝ってくれているかのように綺麗に咲き誇ります。子ども達は感謝の気持ちを込め、全校で肥料をあげました。来年もまた綺麗に咲き、東桜小で頑張る立花っ子を見守ってくれる事でしょう。

## 立花小学校 PTA

また、この様な活動が出来るのは、日頃から地域の皆様の協力があるからなのです。立花小学校には、色々な先生や師匠、ボランティアの方々に協力して頂いております。4年生では、りんごの栽培の授業、5年生では、バケツ稲を育てる授業などを行なっています。この他にも、子ども達は、貴重な体験をさせて頂きました。長きにわたり、本校に携わって頂いた全ての皆様に、この場を借りて深く感謝申し上げます。これからも、立花っ子、東桜小学校を盛り上げていけるよう地域の皆様と協力していきたいと思っております。

閉校まで、あと数ヶ月。たくさん学び、精一杯遊び、素敵な思い出を胸に羽ばたいて行って欲しいです。

(立花小学校 PTA 会長 高橋 賢太)



## 感謝と感動をありがとう黒岩小学校 ～輝け未来へ～ 黒岩小学校 PTA

今年度黒岩小学校は東部地区4校の統合により東桜小学校が令和5年度に開校をするのと同時に閉校致します。地元小学校がなくなるのはとても寂しい気持ちであります。

さて、閉校に伴い、学校・PTA・地域の方々を中心に現在進めている事業、行事を紹介していきたいと思っております。まず一つ目は閉校記念誌の作成です。記念誌はこれまで149年の歴史の中で120周年の際に作成しており、今回は現在の校舎を新築した平成5年以降の30年間について、歴代の卒業生、教職員が中心となって作成しています。二つ目が閉校記念碑で、校門にある既存の石碑に黒岩小学校閉校に関わる文字を刻む予定になっております。三つ目は思い出を語る会です。思い出を語る会は、閉校式の後に、地域の方々、旧教職員、



卒業生をお呼びして思い出などを語り合う交流会であり、この会報誌でも紹介された伝統芸能のめでた舞も披露します。

そして黒岩小学校が閉校した後については地域の方々を中心に現在企画中であります。このように閉校に向けていろいろな取り組みをしてまいりました。閉校しても記念誌、記念碑、校舎など触れる機会などありましたら幸いです。

最後になりますが黒岩の子ども達が東桜小学校として新たな歴史を刻んでいくこととなりますが、何事にも元気な黒岩っ子の心を忘れずに持ち続け、新しいお友達と、明るく楽しい学校生活を送ることができるよう願っております。

(黒岩小学校 PTA 会長 高橋 直樹)



# 周年行事

## 祝30周年

和賀西小学校は、昨年度創立30年を迎えました。この日を迎えることができたのは、先輩の方々、地域の方々、先生方、教育委員会、保護者の方々等の様々なご支援、ご協力のおかげだと改めて感じております。



さて、和賀西小は、横川目小、山口小、岩沢小、仙人小の4校が合併して誕生した学校ですが、合併まで10年以上の歳月を費やしたと先輩方から伺いました。地元から学校が無くなることにより地域連携が薄くなること、他自治区との文化の違い等、心配なことが多々あったと思います。しかし、現在は各地域との連携を図り、どの地域の方々も小学校行事に積極的にご参加いただきながら、良い学校作りが続いていると感じています。



あいさつ運動、交通安全運動、稲作体験、登山、水泳、スキー、読み聞かせ、裁縫等、まさに、地域の皆様

## 和賀西小学校 PTA

でこの和賀西小を支えていただいていることの証だと思っています。

今年度、創立30周年記念事業として、5年ごとに行ってきた恒例の親子登山に加え、運動会での親子三代リレー&風船飛ばし、記念誌の作成、そして、記念式典を開催しました。これらの記念事業が、子どもたちにとって、そして、地域の皆様にとっても、お互いのつながりを実感するとともに、新たな発展に向けて希望と期待を膨らませるきっかけとなれば幸いです。

結びに、記念事業にご協力いただいた全ての皆様へ、この場をかりて感謝申し上げます。

(和賀西小学校PTA会長 高橋 俊樹)



## 北上市立二子小学校150周年祭によせて 二子小学校 PTA



私の母校でもある二子小学校150周年祭記念事業を進める中で、学制が発表された明治から令和に至るまでの二子小学校の歴史に触れることができました。

その150年の間には、紙や鉛筆が高価だった時代、「命を大切にすることができなかった時代がありました。ノートや鉛筆が当たり前のように身近にあり、子どもたちと過ごすことができる今の日常に、幸せや平和のありがたさを感じました。



記念誌の編さんにあたって集められた資料には、時勢の変化に中であっても、いつも子どもたちの笑顔があり、地域全体で子どもたちの学びを支える地域の大人たちの姿がありました。

11月18日には、記念事業の一つとして、さくらホールにおいて「北上市立二子小学校150周年祭記念式典及び記念学習発表会」を開催しました。子どもたちは、「150年のハーモニーを 空高くまで響かせろ 飛勢っ子！」をスローガンに6年生

を中心に発表会に向けて取り組みを進めてきました。100周年祭を機に作られ、歌い継がれてきた「飛勢の子」を全校で合唱し、澄んだ歌声と素敵なハーモニーをホールいっぱいに響かせてくれました。地域の方からは、感動して涙が出てきましたという感想もいただきました。二子小学校の歴史と伝統が子どもたちによって継承されているとともに、未来への希望を感じることができました。

小学校の歴史が刻まれた石碑や、昔からある校庭の桜の木が、これからも子どもたちを温かく見守ってくれることでしょうか。子どもたちが「つよく、かしこく、うつくしく」一人一人が輝き、活躍する未来を心から願い、PTAも一緒に新しい歴史を刻んでいきたいと思っています。

(二子小学校PTA会長 宮原 敦子)



## 令和4年度 北上市PTA連合会 母親委員会の活動

### ◆北上市南部学校給食センター研修会

母親委員会研修会として、2022年10月20日(木)に南部給食センターにて研修会を行いました。



見学させていただいた南部給食センター(令和2年4月完成)は、市内に3か所ある給食センターの中でも最新の設備が整う施設で、市内8小学校・3中学校に向けて約3500食を提供

していただいております。1階が調理・配食スペース、2階が見学スペースとなっており、見学当日もガラス張りの見学通路から調理室を見下ろすと回転釜と呼ばれる大きな釜でいわしだんご汁や大量の和え物を茹でている調理員さんたちの格闘する姿がみえました。



その中でも衛生面・安全管理面では、食材の納入から食材洗浄行程と調理スペースを明確にゾーニング(区分け)することで、人や食材の流れによる交差汚染が発生しないようにしていました。

もちろん、アレルギー対応調理室も完備し、調理から配送提供までを一貫して行い、アレルギー

の誤混入防止をしているそうです。給食の見た目も出来るだけ変わらないように心がけ、子ども達が笑顔で給食を食べられる、安心・安全な給食を届けたいという気持ちが伝わって来ました。

見学後の栄養士さんの講演会では、各学校に対して行われる食育教育の取り組みや地産地消を活かした給食献立への想いを聞かせて頂きました。朝ごはん・間食の取り方など家庭でも連帯感を持って食育に取り組んでいきたいと感じる時間でした。



子どもたちの成長を支える給食がどのような思いで作られ、私たち保護者だけではなく地産地消を通して、地域と一体となり子どもの食生活を支えているということを実感出来る研修会となりました。新型コロナウイルスが猛威を振るう中で一度も給食をストップさせることなく提供し続けてくれる職員の皆様に感謝の言葉しかありません。毎月届く給食だよりに込められた想いを食卓の一品に加えて、各ご家庭での話題のひとつにしてみたいかがでしょうか。

(母親委員長 上野中学校PTA副会長 小川さつき)

## 令和4年度 北上市PTA連合会 研修委員会の活動



本年度の研修委員会としての活動といたしましては、11月5日(土)にホテルシティプラザ北上にて都鳥拓也氏と都鳥伸也氏を講師としてお招きし「ドキュメンタリー映画を通して人間の尊厳の大切さを学ぶ」と題しての講演を行いました。

内容といたしましては、講師のお二方が現在に至るまでの経緯や映画製作に於いて大きな学びを得させてもらった、また刺激になった監督やプロデューサー等の携わった作品を通しての人間のあるがままの姿やその方達から学んだこと、自分たちが制作した映画のこと等普段聞けないことをたくさん話されてとても学びの多い講演でした。特にお二方が手掛けた映画の現場では実際に現地に行き生活し現地の方達と繋がりをもちながら現地の方たち共に映画製作をした話はとても印象的でした。講師のお二方

はもちろん映画に携わるスタッフ全員が人間の尊厳というものを大切にしてきたからこそ現地の方達と信頼関係を築くことができリアリティーある素晴らしい作品ができるのだなと思いました。

約80名近い参加者で、皆さん真剣な面持ちで聞いていました。時代が移り変わるにつれまたこのコ



ロナ禍により人との関わりということが余儀なく制限され「人間の尊厳」というものを感じる機会が減っている中、改めてドキュメンタリー映画を通して人間の尊厳について考えるよい機会であったと思いました。これを機に各学校で都鳥さんお二方が手掛けた映画を生徒や保護者に見せる機会があってもよいのかなと思いました。

(研修委員会委員長 南中学校PTA会長 池田 裕徳)

## 研究大会参加の報告 第70回日本PTA全国研究大会北九州大会 8月26・27日

8月26日・27日の両日、PTAの全国研究大会が行われました。26日は山形県内十都市で分科会が開催され、27日はサテライト会場2か所を設けた全大会が山形市で行われました。いずれも目を見張るアトラクションがあり、パネリストによる興味深い講演または討議だったと思われま

す。講演、討議の多くはコミュニティスクールやウィズメディアに関するものが多いようでした。分科会もそれぞれ面白そうな内容でしたが、1分科会にしか参加できないのが残念でした。来年は広島開催との事。あの学問の神様が祭られている厳島がある地です。

(北上市PTA連合会 副会長 盾石 拓)

## 会長あいさつ



北上市PTA連合会

会長 石積 拓也  
(飯豊小学校PTA会長)

北上市内小中学校PTA会員の皆さま、並びに関係諸団体の皆さまにおかれましては日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

さて、数年続くこの新型コロナウイルス感染拡大。今年こそは…と思いつつも、やはりさまざまな事への影響は免れないもので、各ご家庭や、子どもたちも、大変な思いをした事と思います。学校行事におきましても、行事等は通常に近い形で開催される様にはなりましたが、やはり数年前とは違い、子ども達の思い出への影響は少なからずある事でしょう。

この様な時だからこそ学校、保護者との連携がととても大切になります。

PTA parent teacher association、保護者と先生の団体。色々な意味を込めて名付けられたPTAですが、最近私が思う事としまして、なぜ団体名の中に「子ども」という文字が入っていないのか？と感じる事があります。子どもあってこそその保護者です。子どもあってこそその学校です。「全ては子どもたちのために」がPTA活動の本来の目的だと思っております。沢山の保護者、先生方が子どもたちのために、より連携を強化できれば、どんなイレギュラーに対しても対応できる事でしょう。このコロナ禍ではその点を強く感じる事が出来ました。運動会、体育祭然り、その他行事も、保護

者がもっと協力できる体制、学校側が協力を求められる体制が全て、子どもたちの思い出に残る学校生活、環境を作るのだらうと思います。まさに今が色々な事への見直しや確認の時期なのではないでしょうか？

昨今、ネットやニュースでPTAについて目にする機会が多くなりました。取り上げる中身としましては、任意団体云々や、役員強制…等がほとんどです。勿論、その様な背景があることは否めません。暗黙のルールみたいなものがどこにもある事でしょう。しかしながら、そんな悪いことばかりではないのも事実です。保護者間の交流は少なからず、子どもたちの交流にも繋がります。親がPTA活動で学校に行けば、子どもたちも喜びます。楽しんで活動していれば、子どもたちも学校生活を楽しみます。まさに親の背中を見て…というのは、この様な事を言うのではないのでしょうか？我が子が通う学校の活動です。今、連携を強化しなければならぬ、この様な状況下、皆さまには引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 令和4年度 北上市PTA連合会役員

- <会長> 石積 拓也 (飯豊小学校P会長)
- <副会長> 高橋 優介 (照岡小学校P会長)
- 池田 裕徳 (南中学校P会長)
- 阿部 雅洋 (黒沢尻北小学校P会長)
- 小原 英樹 (いわさき小学校P会長)
- 盾石 拓 (江釣子中学校P会長)
- <母親委員長> 小川さつき (上野中学校PTA)
- <顧問> 高橋 敏紀 (黒沢尻西小学校P会長)
- <事務局長> 波田野 誠 (飯豊小学校副校長)
- <事務局補佐> 苔米地俊亮 (飯豊中学校副校長)
- <事務局会計> 苔米地俊亮 (飯豊中学校副校長)

### 令和4年度北上市PTA連合会広報委員会

- <委員長> 盾石 拓 (江釣子中学校P会長)
- <副委員長> 小原 英樹 (いわさき小学校P会長)
- <委員> 高橋 賢太 (立花小学校P会長)
- 高橋 直樹 (黒岩小学校P会長)
- 橋場 渉 (鬼柳小学校P会長)
- 宮原 敦子 (二子小学校P会長)
- 佐藤 岳洋 (口内小学校P会長)
- 照井 悠太 (江釣子小学校P会長)
- 清水 幸一 (和賀東小学校P会長)
- 高橋 俊樹 (和賀西小学校P会長)
- 高橋 憲一 (和賀東中学校P会長)
- 名須川ゆかり (和賀西中学校P会長)
- <事務局> 福井 慎二 (江釣子中学校副校長)
- 上山 ユミ (いわさき小学校副校長)

### 編集後記

広報委員長を務めさせて頂きました盾石と申します。執筆・校正にあたっていただきました理事および事務局の皆様、ご協力誠に有りました。

令和五年度には市内四小学校が統合され新しい学校がスタートします。それに伴う廃校措置等があり、歴史ある学校とのお別れに感慨深い方々も多いのではないのでしょうか。今回の広報にはそういった学校からの記事を厚くしており、興味深い内容になったのではないかと思います。新生学校への期待を覚えながら、古き良き学校の記録として読んでいただけたら嬉しいです。今後のPTA活動については、GIGAスクール構想に加え、地域との連携への取り組み、すなわちコミュニティ・スクールの実践と取り組み等が話題の中心になりそうです。今回の広報がPTA会員の皆様にとって、取り組みへの意欲・関心を高めるものになっていたら幸いです。市P連・学校・地域一丸となって子供達の明るい未来への道を切り開いて行きましょう。